

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
匝瑳市	③学校と家庭の課題	放課後等における多様な体験活動	保護者が就労しているなどの理由から放課後の過ごし方が限られている児童が増えており、放課後の多様な体験活動の場をどのように保障するかが課題である。	放課後子ども教室を市内3か所に設置する。	放課後子ども教室で放課後の時間を有意義に過ごすことができる。	「放課後子ども教室に参加することで、家庭で過ごすよりも有意義に放課後を過ごせた」と回答した児童の割合	-	%	80	93	3 「子ども教室で過ごすことは、お家で過ごすことより自分のためになった」と回答した児童の割合 対象者:129名 回答者:94名 うち該当回答:87名 「有意義」の解釈をよく考え、目的意識を持った活動となるよう改善していきたい。
匝瑳市	③学校と家庭の課題	家庭等における学習習慣の定着	学校以外で学習を行う習慣がない児童が増えており、学校の授業以外で学習を行うことに対する指導等が学校・家庭の共通の課題となっている。	土曜日に算数と国語の学習機会を提供するサタデースクールを年間30日開設する。	学校以外で学習を行う習慣がつく。	「学校以外で学習を行う習慣がついた」と回答した保護者の割合	-	%	30	95	3 「土曜日を有効活用できた」と回答した児童の割合 対象者:73名 回答者:39名 うち該当回答:37名 回答の大半がサタデースクールに意欲的に参加した児童の回答であり、必然的に数値が良かった。次年度は、より学習の習慣化に着目して活動するとともに、実態を的確に把握する方法を検討したい。